

# 岩手県感染症週報

平成23年第31週（8月1日～8月7日）

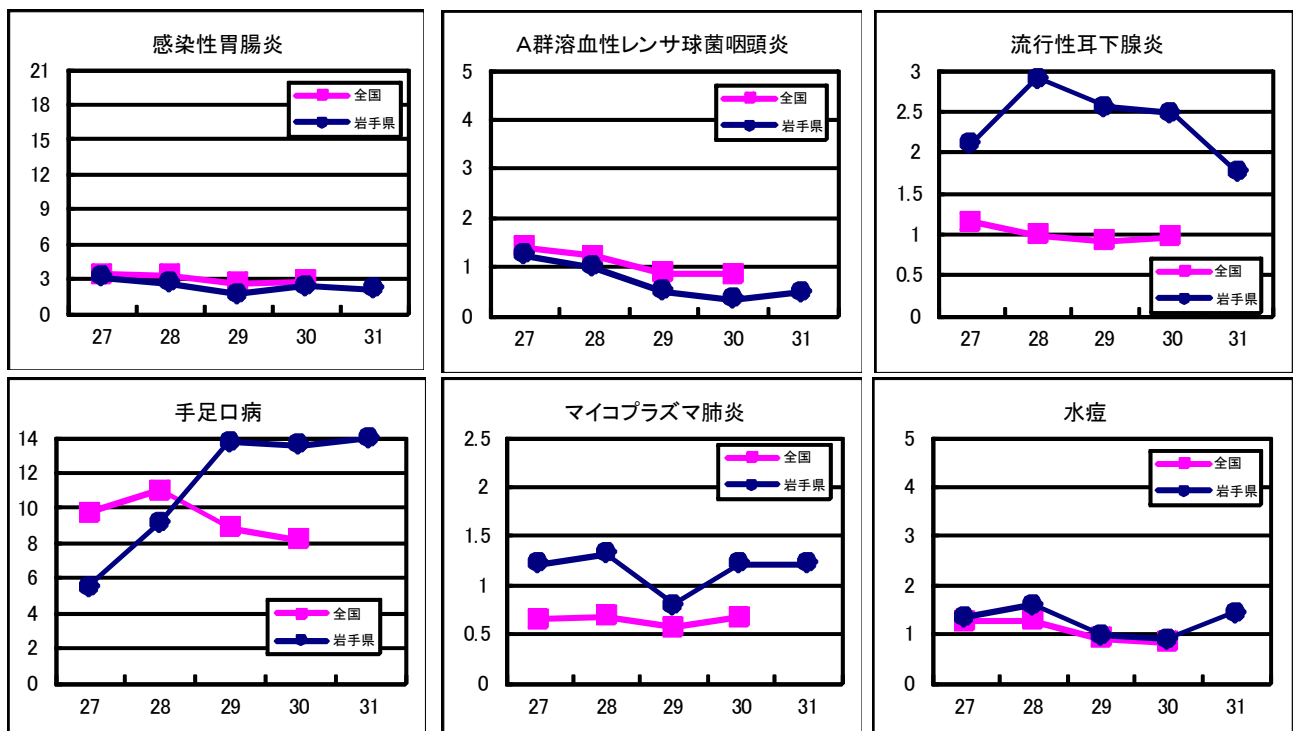
岩手県感染症情報センター

## 第31週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生 の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核の患者の報告が2例ありました。
- 3 類感染症
  - ・腸管出血性大腸菌感染症は、14例の報告がありました。県内の保育園では大腸菌O26による集団発生があり、園児およびその家族の感染が報告されています。予防には、食品の衛生的な取扱いの徹底ならびに、帰宅後、調理前、食事前、用便後における流水と石鹸を用いた手洗いの励行が重要です。
- 4 類感染症 ・患者発生 の報告はありませんでした。
- 5 類感染症（全数把握対象疾患）
  - ・患者発生 の報告はありませんでした。
  - ・麻しん（はしか）の予防にはワクチン接種が有効です。定期接種の対象の方（1歳児、年度内に6歳、13歳、18歳になる方）は、夏季休暇を利用して早めの接種を。
- 5 類感染症（定点把握対象疾患）
  - ・震災の影響で、大船渡地区の一部定点医療機関からは情報が入っていません。
  - ・手足口病は、県内10地区全てで定点あたり患者数が警報値（5人）を超えました。患者の9割以上が1～6歳です。本疾患はウイルス性の感染症であり、通常数日で回復しますが、まれに髄膜炎になることがあるため、頭痛、嘔吐を併発した場合は、早期の受診が必要です。

## 最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが異なることに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		27	28	29	30	31		
インフルエンザ	岩手県	0.17	0.06	0.03	0	0	→	
	全国	0.06	0.04	0.03	0.02			
RSウイルス感染症	岩手県	0.05	0.05	0.03	0.1	0.1	→	☆
	全国	0.13	0.17	0.16	0.22			
咽頭結膜熱	岩手県	0.1	0.1	0.05	0.2	0.05	→	
	全国	0.78	0.84	0.73	0.63			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.23	1	0.5	0.33	0.48	→	☆
	全国	1.4	1.21	0.87	0.85			
感染性胃腸炎	岩手県	3.13	2.65	1.7	2.38	2.13	→	☆
	全国	3.43	3.28	2.65	2.8			
水痘	岩手県	1.35	1.58	0.98	0.9	1.43	→	☆
	全国	1.27	1.28	0.92	0.82			
手足口病	岩手県	5.48	9.1	13.75	13.58	14	↗	☆☆☆
	全国	9.72	10.97	8.89	8.19			
伝染性紅斑	岩手県	0.25	0.25	0.05	0.2	0.25	→	☆
	全国	0.94	0.84	0.45	0.61			
突発性発疹	岩手県	0.68	0.5	0.33	0.58	0.48	→	☆
	全国	0.73	0.71	0.61	0.67			
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.02	0.03	0.04			
ヘルパンギーナ	岩手県	1.2	1.85	1.8	2.25	2.78	↗	☆
	全国	3.41	4.71	4.03	4.45			
流行性耳下腺炎	岩手県	2.1	2.9	2.55	2.48	1.75	→	☆☆
	全国	1.15	0.99	0.92	0.96			
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.76	0.7	0.5	0.41			
流行性角結膜炎	岩手県	0.29	0.29	0.21	0.21	0.21	→	☆
	全国	0.75	0.83	0.7	0.78			
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.04	0.02	0.02			
無菌性髄膜炎	岩手県	0.16	0	0	0	0	→	
	全国	0.05	0.03	0.05	0.08			
マイコプラズマ肺炎	岩手県	1.21	1.32	0.79	1.21	1.21	→	☆☆
	全国	0.65	0.68	0.57	0.67			
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0.05	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.01	0.02			

【流行傾向の見方】

- 無印：ほとんど患者が発生していません
- ☆：患者が発生しています
- ☆☆：警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆：多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

	疾病名	岩手県					全国	
		(週) 27	28	29	30	31	累計	30
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	1
	結核	3	1	4	5	3	99	320
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ（H5N1）	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	1
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	4
	腸管出血性大腸菌感染症	2	8	3	15	14	60	208
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	0
	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	3	2
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0
	キャサヌル森林病	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	2	0	0	0	0	8	1
	デング熱	0	0	0	1	0	1	1
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ（H5N1を除く）	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	3
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	1
	野兎病	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0
	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0
	リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0
	類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	8	12
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0
	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0

全数把握対象疾患（続き）（過去5週の動き）

（患者発生数）

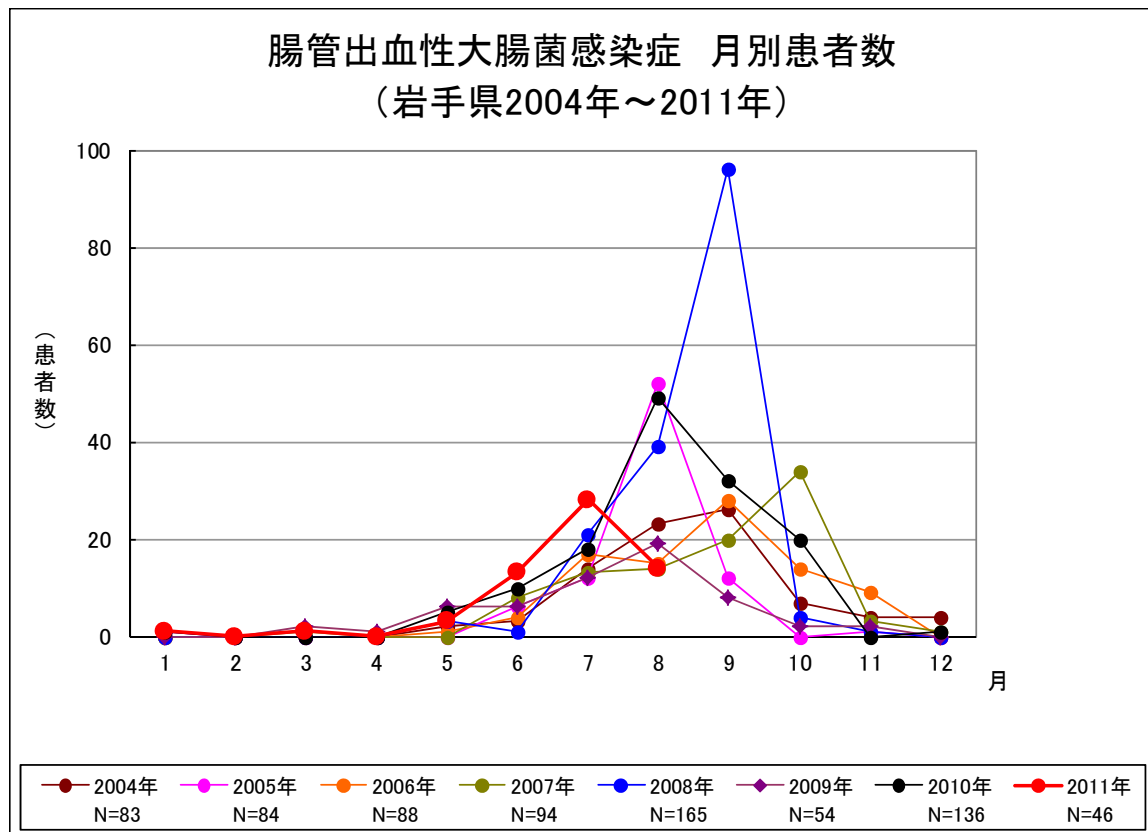
分類	疾病名	岩手県						全国	
		(週) 27	28	29	30	31	累計	30	累計
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	1	1	0	7	5	441
	ウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎を除く）	0	0	0	0	0	0	3	153
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く）	0	0	0	0	0	2	3	183
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	6
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	0	65
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	1	3	137
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	2	19	810
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	39
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	7
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	1
	梅毒	0	0	0	0	0	0	7	427
	破傷風	0	0	0	0	0	2	2	64
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	30
	風しん	0	0	0	0	0	1	6	272
	麻しん	0	0	0	0	0	1	4	372

今注目の感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は、第31週には14例の報告がありました。本年はこれまでに計60例が報告されています。性別では男性が34例、女性が26例であり、年齢層別では0～9歳が32例、10～19歳が2例、50～59歳が7例、60歳以上が4例となっています。分離された大腸菌の血清群別では、O157が10例、O26が43例、O111が2例、O121が2例、O103が2例となっています。

毎年、夏季に患者の報告が多いので、食品の保存などの取り扱いには充分注意して食中毒対策を徹底するとともに、二次感染を予防するために手洗いの励行が重要です。



## 今注目の感染症（つづき）

## 被災地で注意すべき感染症

平成23年3月11日の震災から約5ヶ月が経過しましたが、被災地では感染症対策においても、依然厳しい状況が続いています。本年は県内沿岸部においても気温が30℃を超える日が続き、今後、被災地における健康管理は難しい状況が続くと考えられます。本稿では国立感染症研究所が作成した「被災地・避難所における感染症リスクアセスメント」等を参考に、被災地で注意すべき感染症について紹介します。

## ○食中毒・感染性胃腸炎

気温の上昇とともに、腸管出血性大腸菌、赤痢菌、サルモネラ、カンピロバクターなどの細菌による食中毒や胃腸炎の発生が多くなります。予防には、トイレ使用後や食事前の流水と石けんを用いた手洗いの励行が重要です。水が使用できない場合にはアルコール手指消毒剤が有効です。また、提供された弁当等の食事は、なるべくすぐに食べていただき、置き置きをできるだけ避け、時間が経ったものは処分することが重要です。吐き気やおう吐、下痢等の症状がある方は、配膳や炊き出しといった食品を取り扱う作業を避けるようにしてください。

## ○麻しん（はしか）

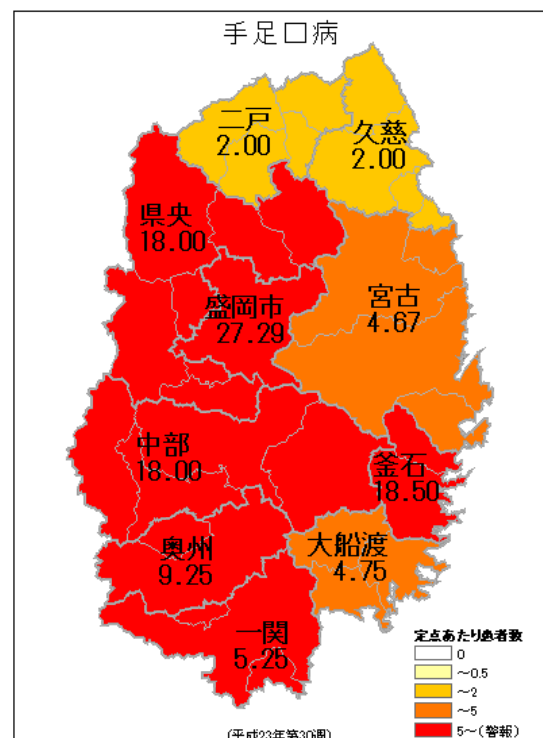
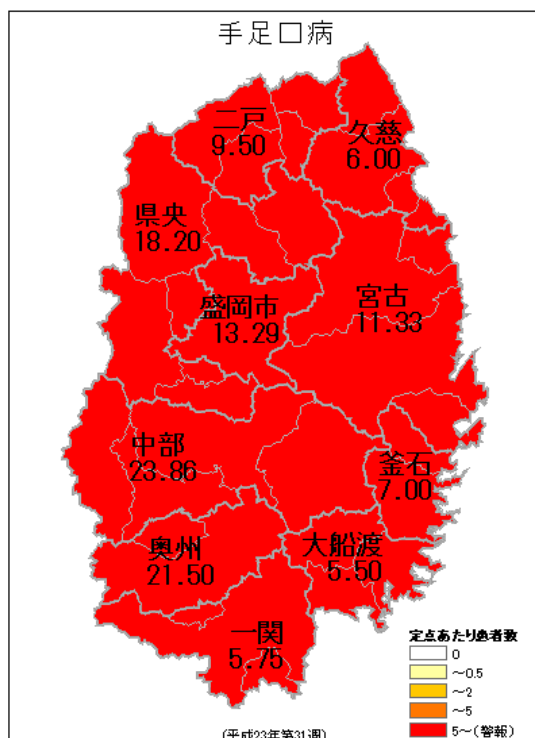
麻しんは、麻しんウイルスによっておこる感染症で、接触感染、飛沫感染、空気感染により感染します。感染力が非常に強く、避難所において問題になることがあります。震災後、県内での発生報告はありませんが、首都圏で報告数が増加しており、人の移動に伴う感染拡大に対する注意が必要です。予防には、ワクチン接種が有効であり、定期接種の対象の方（1歳児、年度内に6歳、13歳、18歳になる方）には早めの接種をお勧めします。

## ○破傷風

破傷風は、土壌中の破傷風菌が傷口から体内に入り増殖し、毒素を産生することにより、神経障害を起こします。がれきの撤去作業は傷を負う危険性が高く、傷が原因で破傷風を発症することがあります。復興作業時に、傷を負わないよう注意が必要です。

## 手足口病

手足口病は、乳幼児を中心に夏期に流行するウイルス性感染症で、主な症状は、口腔粘膜、手、足などに現れる水疱性の発疹です。通常、数日で回復しますが、まれに髄膜炎を起こすことがあるので頭痛、嘔吐を併発した場合は、早期の受診が必要です。本年は全国的に患者報告数が多くなっており、本県でも全域に渡って流行がみられています。第31週の定点あたり患者数は14.0人と警報値（5人）を大きく超えています。



手足口病、定点あたり患者数、地区別、左：第31週、右：第30週

## 病原体検出情報

- ・この週には病原体検出情報はありません。

## 集団感染情報

○腸管出血性大腸菌（026）感染症の集団発生

1 県央保健所管内の保育園（児童数142名、職員29名）

- ・7月15日（金）から8月8日（月）にかけて20名（患者10名、無症状病原体保有者10名）の感染を確認

## 医療機関からの情報

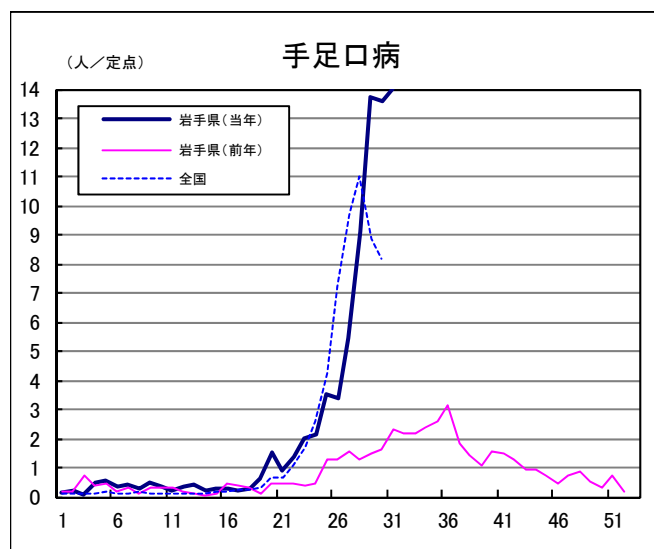
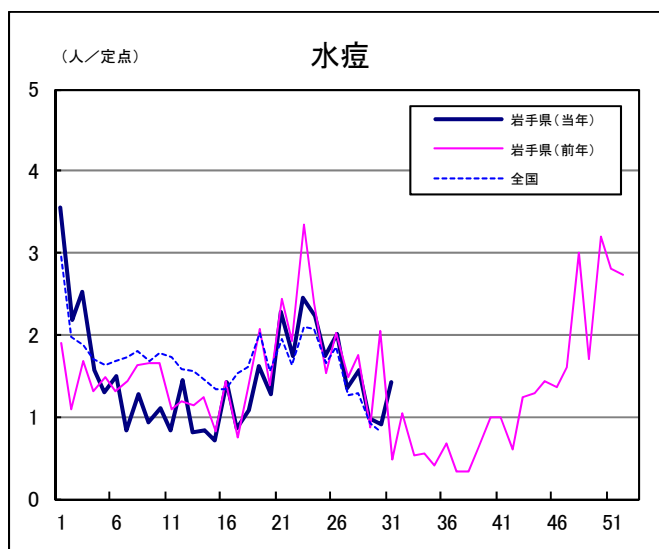
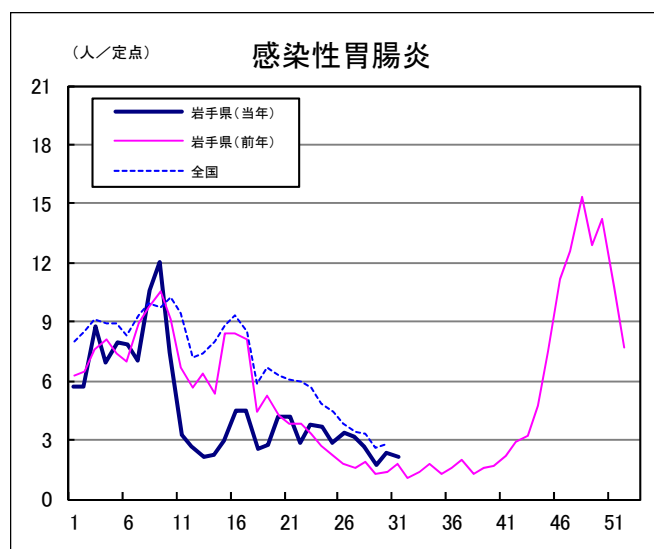
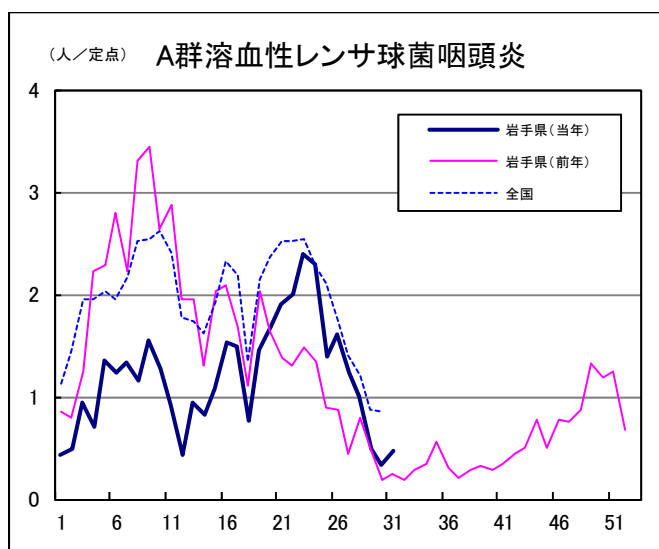
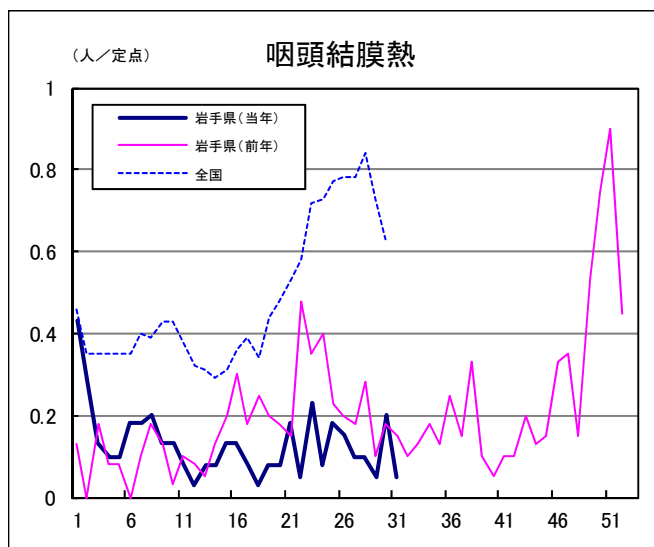
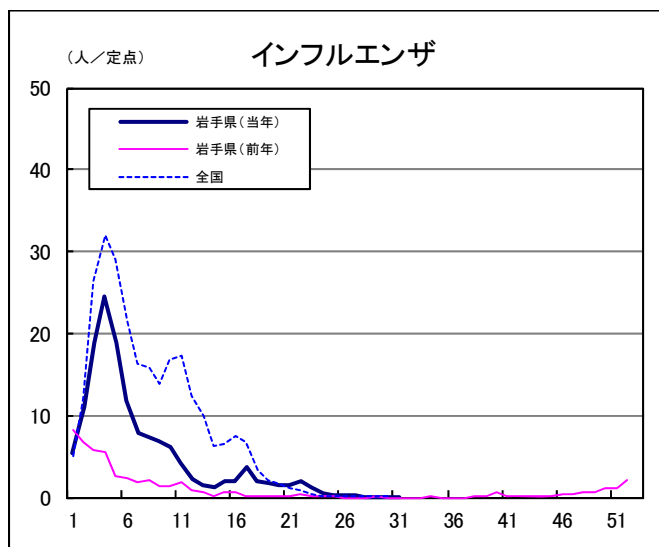
- ・この週には医療機関からの情報はありません。

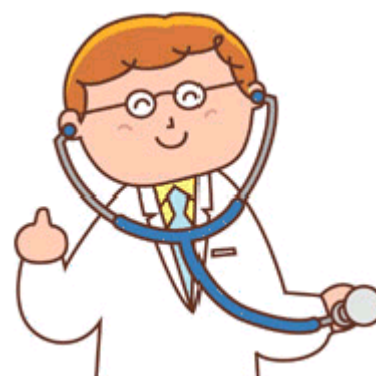
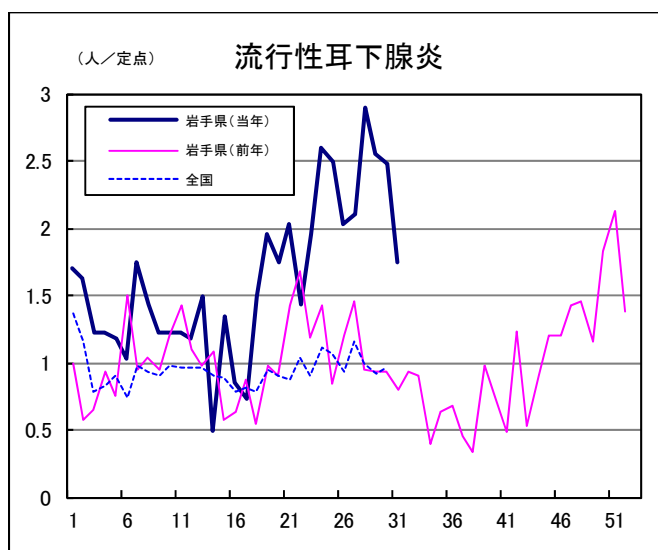
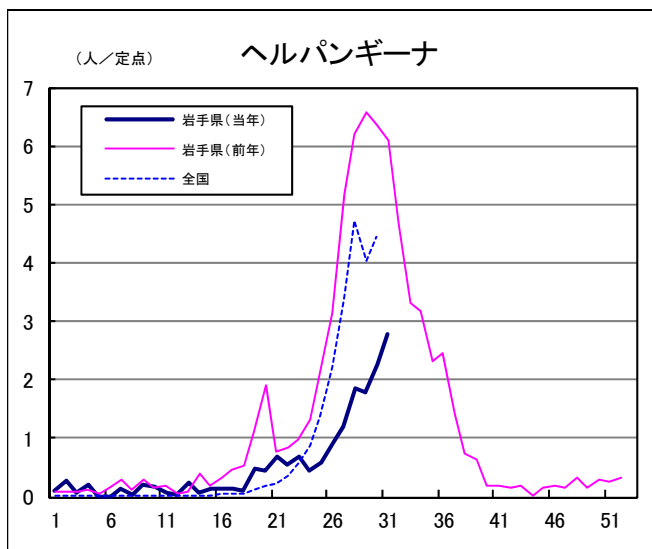
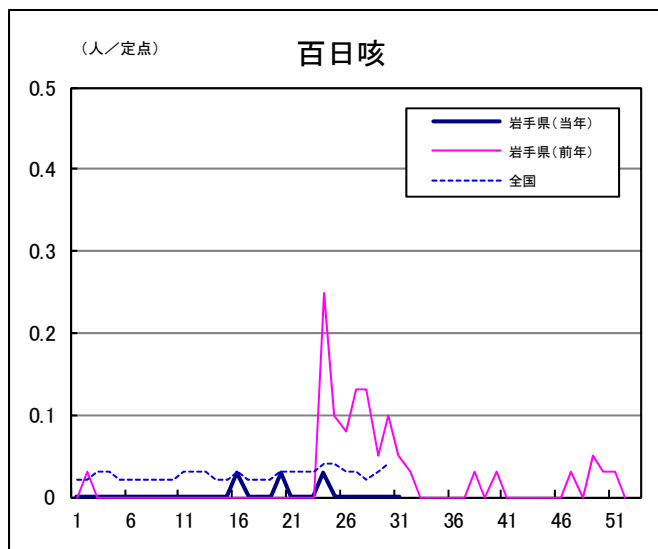
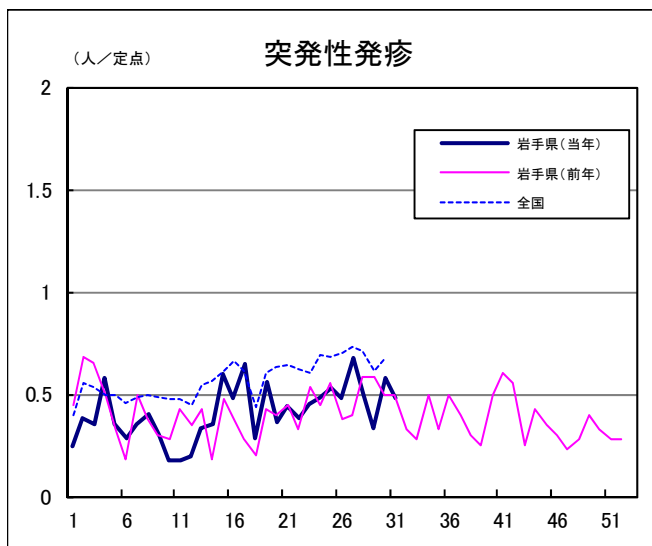
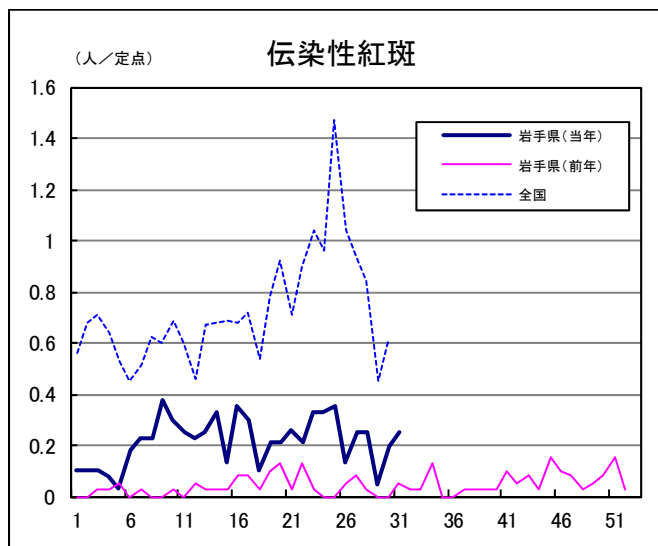
## Q & A

読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

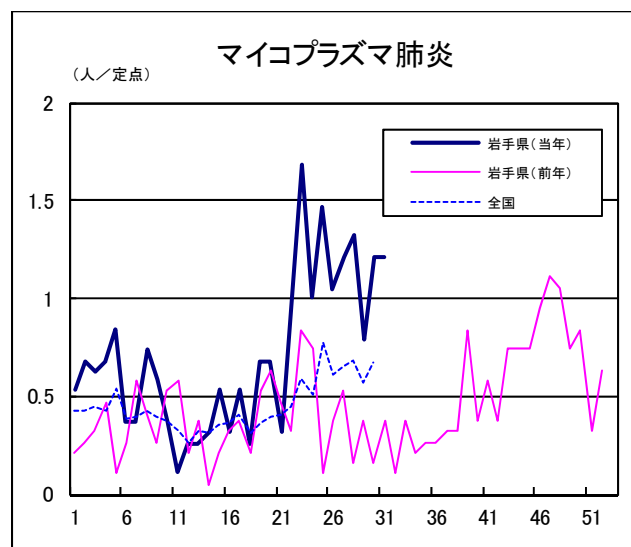
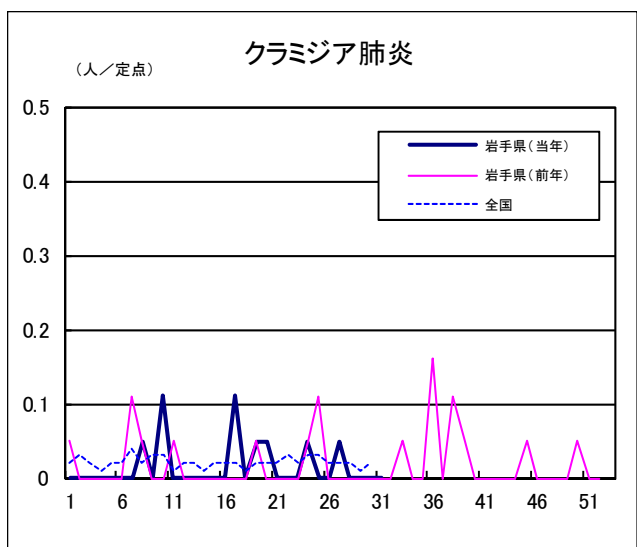
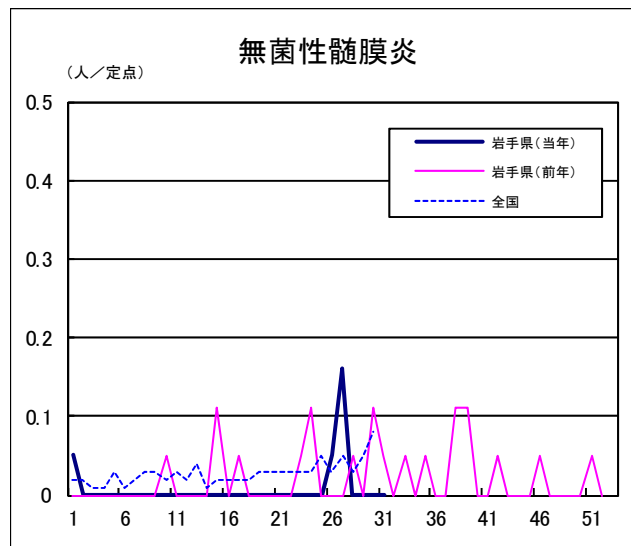
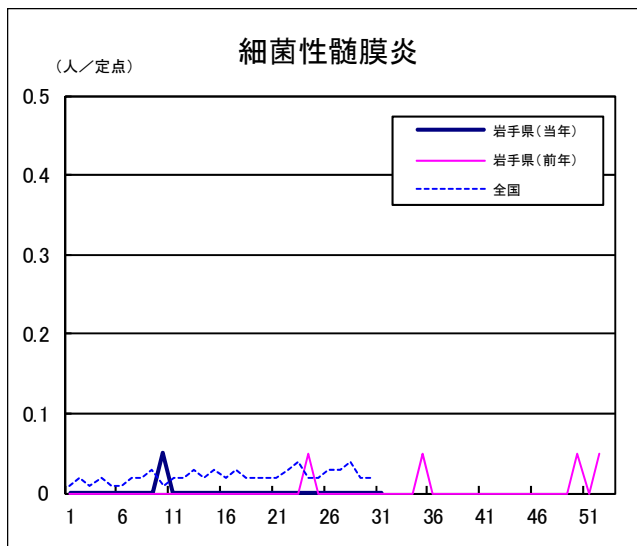
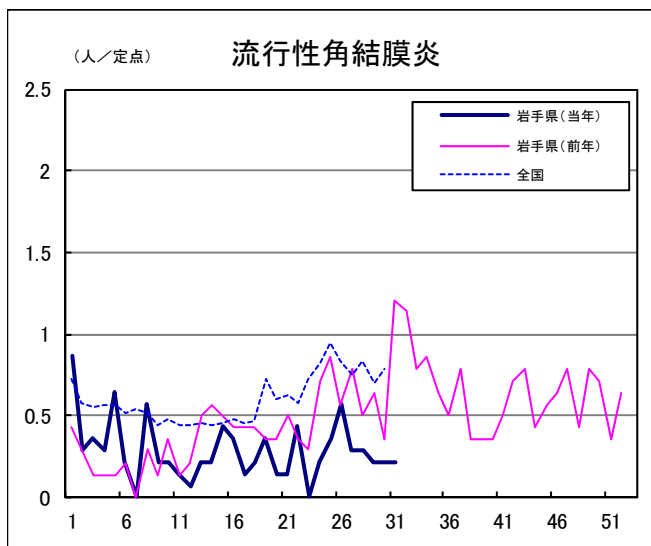
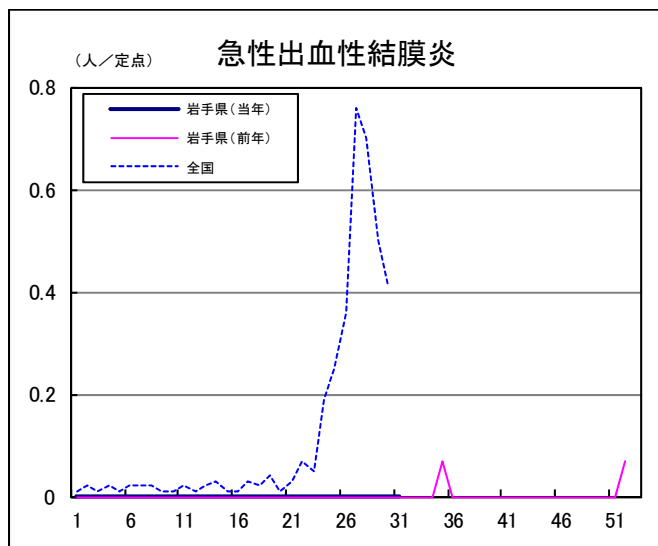
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。  
岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）  
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1  
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667  
E-mail : CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	64	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	7	5	2	0
花巻	7	4	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成23年第31週 平成23年8月12日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター

岩手県保健福祉部医療推進課

事務局：岩手県感染症情報センター

（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）

〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1

TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=345&ik=3&pnp=17&pnp=60&pnp=345>

<岩手県保健福祉部医療推進課>